

Lion

IWATE

2017. 11

332-B 地区 アクティビティスローガン
かたい絆に思いを込めて、We Serve

笑顔あふれた 332 複合地区 FWT フェスタ

《報告者》 332-B地区コーディネーター 須賀原 千エ子

紅葉の始まった宮古市で開催された、332複合地区初のFWTフェスタ in 宮古は100名を超す参加者で10月12日、13日予定通り盛大に開催されました。各地区からガバナーを先頭に多くの方々にご参加頂きました。B地区では森谷潤ガバナー夫妻を初め筒井學地区常任名誉顧問夫妻、種市一二地区常任名誉顧問、ZCは5 R1Z 中山城明L、5 R2Z 高清水敬士L初め多くのライオンの皆様総勢49名のご参加頂きました。

研修1 手創工房 輝きの和 見学

東日本大震災後女性たちを支えたいと陸中宮古LC陽だまり支部を立ち上げ、支援の拠点となる工房をLCIFからの支援で建設。被災者や女性達の仕事場として着物地裂き織りや各種手作り商品の製作を行っています。



宮古体験広場事務所



お振舞のためのキッチンカー



被災者の作った商品をお買い求め頂きました

研修2 第16陸中丸船長 坂本繁行氏 講演

3月11日、船長の機転でせまり来る津波を越えて沖へ避難。遊覧船の中で船長から当時のお話を伺いました。

「自分の命は一瞬で判断し、自分で守るんだ。地震が起きたときは、すぐに船を沖に向けた。津波は大きかったが、海の上では揺れを感じなかった。ただ、40時間以上も陸に戻ることができなかった。燃料を節約するためエンジンを止めていたので、寒かったし、不安だった。限られた食料を分け合って食べた。」など、津波当時の生々しい内容でした。



乗船記念写真です。



船長の坂本さんです。



式典

各地区のFWT活動が
分かる記念のしおり



来賓の宮古市議会議長前川様、複合議長B地区ガバナー森谷夫妻、D地区ガバナー菅野夫妻、E地区ガバナー伴L、F地区ガバナー高堂夫妻（C地区竹下ガバナー都合により前日不参加）



よろこばれることに
よろこびを



332 複合 FWT コーディネーター
(盛岡観武 LC) 矢羽々 睦子

332 複合FWTフェスタ in 宮古達成されました。各地区力をあわせられ引いる議長ガバナー L の皆様ご協力ご支援深く感謝申し上げます。

とりわけ B 地区コーディネーターはじめ沿岸地区クラブメンバーのご尽力ありがとうございました。

FWT 発足から 3 年目、複合コーディネーターとして奉仕活動ネクタイ支援再生プロジェクト続行中です。成果が出てきました。集める力、作る力、売る力、買う力、フォーステップで持てる力を出し合ひましょう。支え支えられる W ハート心と心、手と手を女性ならではの賛同をしていただけますようにノンライオンをお誘い下さいませ。おしゃれに楽しく活動発信してどうぞよろしく願いいたします。 合掌

研修3 基調講演 B地区コーディネーター L. 須賀原



世界中のLCからの支援に心から感謝している。手仕事は女性達の支えになった。そこで、陽だまり支部を立ち上げ、手作り商品の開発と販売の支援を始めた。どうしても拠点となる工房を設置したいと悩んでいるときLCIFの支援と出会い、浜田亀山LCからの支援と合わせて設置できた。そこで様々な支援を行っている。災害は今後もどこかで起きるだろう。その時には私たちの経験を活かす支援がしたい。

研修4 各地区FWT報告



各地区のFWTコーディネーターが発表。B地区では昨年のFWT活動賞から、北上LC、「いわての学び希望基金」への寄付、釜石LC、「あいぜんの里」への奉仕活動、陸中みやこLC、商店街活性化事業、花巻東LC、手作り品の販売による青少年施設へ寄付、そして盛岡観武LC、こども食堂について報告しました。

【LCIFに寄進するために】

ネクタイ再生商品の販売する盛岡観武なでしこ支部、陸中宮古陽だまり支部の方々。商品作りと販売を頑張りました。



交流会



伴ガバナーのウィサーブ



皆さんでウィサーブ



シンガーソングライター
尾林 星



E地区から子ども食堂へ



4地区ガバナーによるローアー



美味しいディナーとおしゃべりで
皆さんが知り合いになりました。
名残り惜しい
また会う日まで



大満足の森谷潤
複合議長とFWT
複合コーディネーター
矢羽々睦子L



受付などのご協力くださった
陸中宮古LCの皆様

朝食会

FWTのこれからの活動について各地区で話し合い発表、B地区では陸中宮古LC宮城貞子Lが活発な活動を行うことを発表しました。



来年もFWTフェスタで会いましょう



薬物乱用防止講座開催

千厩ライオンズクラブ L.千葉 正行

9月27日一関市立千厩中学校の2年生(103名)を対象に薬物乱用防止講座を開催しました。これは現在大きな社会問題となっている薬物に依存する成人や青少年が拡大傾向にあるということから、この深刻な状況を抑止しようとする啓蒙活動の一環事業で開催しています。これは千厩ライオンズクラブでも青少年の健全

育成奉仕活動として毎年実施しており、中学校においても年間の教育カリキュラムに組み込み薬物乱用防止の啓発強化に努めておられます。

当日の講座は千厩警察署生活安全課千葉隆宏課長の違法薬物の使用犯罪行為や刑罰に関する説明、そして薬剤師の及川康憲先生(水沢中央LC所属)からは、薬物の怖さや1回でも使用すると乱用となること、覚醒剤や大麻、危険ドラッグなど、薬物の持つ依存性の解説等があり「1回くらいいいだろう」と思って手を出すと「やめたくてもやめられなくなる」、全てをなげうってでも薬を求めるようになり、全く別の人生を歩んでしまう……。と危険性を強く訴えた。又、将



来海外に行く際麻薬の「運び屋」として利用されることもあると注意を呼びかけました。「自分一人の体ではない、間違っても手を出さないで欲しい」と強調しました。

最後に聴講した生徒を代表して謝辞が述べられ、その中で「一度使うと抜け出せなくなることがよく分かりました」そして私達は絶対薬物に手を出さないと全員が約束をして1時間の講座を閉じました。

当千厩中学校においては長年継続的に薬物乱用防止講座を開催し、生徒への啓蒙活動教育も他中学校の模範となるもので高く評価されるものです。



50周年事業を終えて

前沢ライオンズクラブ 会長 菊地 浄雄



この度の当前沢ライオンズクラブ50周年にご参加いただきましたご来賓、キャビネット役員をはじめスポンサークラブ水沢ライオンズクラブ、県内各クラブ、東京昭島ライオンズクラブ、北海道厚真ライオンズクラブ、そして関係者の皆さまに改めてこの紙面より50周年事業に彩りを添えて頂きましたことに厚く感謝と御礼を申し上げます。

精一杯のおもてなしをとクラブ員一同惨憺致したものでありますが、不行き届きなところがたくさんあったものと思います。何卒ご海容かいようの程、伏してお願い申し上げます。

近年クラブ員減少と退会、解散クラブの存在事実には誠に残念でなりません。地域ニーズの掘り起こしに方途を向け、どのようなアクティビティが求められているのかを検

証することも必要と考えます。一隅を照らす、そしてそのことで全体を慮る活動へと繋がっていくことが求められるのではないのでしょうか？

ライオンズクラブ2世紀元年の今年（2017・平成29年）輝かしい歴史と功績を狙い、栄えあるクラブへと更なる社会的昇華に向けて邁進してまいりたいとクラブ員一同心を一つにしております。

遡ること50年、諸先輩が築いてこられたライオニズムに恥じない一歩を築いてまいり所存です。そして地域社会、引いては国際社会に幾ばくかの貢献となれるよう活動してまいり決意です。

思えば延べにすると30回を超える実行委員会の各種委員会。各委員会が機能しなけ

れば正に絵に描いた餅。正会員、賛助会員、家族会員、ライオンレディーの皆様のご協力に篤く感謝申し上げます。

忘れてはならないのは、いつもクラブ活動を支えてくださるクラブ員関係ご家族の皆様、何卒今後とも「We Seave」の精神を支えていただきたくお願いいたし

ます。

最後になりますが、県内外のライオンズメンバーの皆様、そして関係者の皆様、今後共当クラブへのご支援ご指導をお願いいたしましてお礼に代えさせていただきます。

この度は、誠にありがとうございました。



一輪車クラブアルスノーバの素晴らしいアトラクション

ク/ラ/ブ/紹/介

室根ライオンズクラブの紹介

4R1Z L. 中嶋 雪舟 (室根LC会長)

当クラブは1998年の結成で、間もなく20年を迎えます。当初県内で一番若いクラブ員で構成、発足しましたが、昨今歳月の流れを禁じ得ません。それでもクラブ員46名(家族会員含む)が、それぞれの個性を発揮し明るく、楽しいクラブ運営をすすめています。

10周年の記念事業では、室根山頂に地元産の銘石を使用して建ち上がり4m x 胴周り1mの「山頂碑」を建立しました。今、登山者の記念写真の場として親しまれています。

当クラブの目標は奉仕活動を通じて地域社会への貢献、青少年の健全育成、クラブ員の親睦・交流を主眼として運営しています。奉仕活動では、毎月1~2回の事業を行っています。春は地域の名所の桜木の手入れや植樹。五月には街頭や主な施設に300個のプランターを設置。また室根山周辺や特別養護老人ホーム、地元JR駅等を中心に草刈や清掃、環境美化の労力奉仕を行っています。また、月刊誌LION9月号でも紹介されましたが、室



山頂碑建立

根夏祭りでは焼きとうもろこしの販売やバザーセールを行い、その収益金を災害の被災地に毎年支援しています。

青少年育成では、市立図書館にライオンズ文庫を設け、毎年本を寄贈しており、また、室根LC独自の事業《ブックスタート事業》を立ち上げ、乳幼児全員にそれぞれ絵本数冊ずつ贈呈を行っています。近年読者離れが言われておりますが、親子での「読み・聞かせ」を通じて幼児期から本に親しみ、興味を持つことの大切さを提唱しています。

また、各種団体の構成メンバーとなって、諸行事等にも参画し、地域の皆さんと共に活動しています。また、このようなクラブの事業や活動状況を《室根LC活動広報誌》として発行し、全戸に配布してライオンズクラブをPRしています。今後も、皆さんの理解と協力を頂きながら地域の奉仕団体として活動して参ります。



夏祭り

ク/ラ/ブ/紹/介

西根LCとの家族交流会と、鱈ヶ沢LCとの新たな交流に向けて

5R1Z L. 谷地 裕貴 (久慈LC幹事)



ライオンいわて9月号でも西根LCのクラブ紹介の記事で触れておりましたが、当久慈LCと西根LC、ネスクラブとの交流は今年で44年目となりました。

去る10月22日、毎年恒例の両クラブの家族交流会を西根LCがホストで八幡平ロイヤルホテルにて開催されました。午前中に紅葉がちょうど見頃な「県民の森」周辺を散策しました。あいにく小雨まじりの天気でしたが、それもまた風情のある情景で十分楽しめる内容でした。その後、各自温泉に浸かり、懇親会へと続きました。両クラブの会長の挨拶を交わし、こちらも毎年恒例のお土産交換もしました。西根LCからは、杜仲茶ポークのブロック肉。久慈LCからは、今年不漁で手に入りにくいその日水揚げされたサンマとイカ（西根LCからは大変喜んで頂きましたし、頂いたお肉も例会のときに調理をし美味しく頂きました）。小さな子供たちも楽しめるレクリエーションもあり、地酒の飲み比べもあり、存分にご当地の山の幸を堪能しました。また、クラブ同士の意見交換、来年の交流会への意気込みを伝え、惜しまれつつ笑顔で閉会を向かえました。来年以降も、両クラブが切磋琢磨し合うような活動をし、末永くさらに交流を深めたいと思います。

また新たな交流も始めるクラブもあります。332-A地区の鱈ヶ沢LCです。きっかけは、津軽藩初代藩主津軽光信公が当久慈地方より輩出されており、久慈市と鱈ヶ沢町は歴史的にも繋がりが深く、去る10月15日に鱈ヶ沢LCのCN45周年にも招待され、久慈市（久慈LC後援）で「津軽藩始祖・光信公の館資料展（帰ってきた久慈の武将）」が11月15～19日まで開催されます。そこで鱈ヶ沢LCをご招待し、交流を深めようというわけであります。



久慈LCは今年で結成51年目を迎え、新たな50年のスタートとして、西根LCと長きに交流を深め、鱈ヶ沢LCと新たに交流をはじめ、We Serveの精神を継続、拡大をしてまいりたいと思います。



会員拡大 —純増10%達成に向けて—

「会員拡大」について

L. 伊藤 良正 (盛岡LC幹事)

「組織」は人間の体と同様「生き物」のように感じます。組織に帰属する人間はさしずめ「細胞」のようなものでしょうか。細胞が古くなれば、組織の老化が進み、組織として「機能はしているけれども、新しいものを産み出せなく」なってしまいます。

故に、組織の構成員はいつも自己変革しながら、組織には良い「刺激」を与え、常に新鮮な体質を維持できるよう努める必要があります。

新人が入会すると、一つの大きな刺激となって空気が変わり、新鮮さが与えられ、組織は活性化されますので、もうそれだけで、組織としてはありがたいことでもあります。新人の入会は、そういう意味合いにおいて、最も重要な課題であります。

そこで、会員増強の方策について、国際協会ではどのように考えているのかと思い、ホームページを確認してみた所、大変示唆に富む事柄が沢山情報発信されていました。

簡単にその内容を紹介してみますと、会員増強というページには、クラブ強化への青写真・会員の満足度調査ガイド・あなたの評価

は？・地域社会奉仕ニーズ調査・あなたのクラブ、あなたのやり方で・新会員オリエンテーション・メンタープログラム・ライオンズ学習センターのオンラインコースという項目があります。

次に、クラブ強化の青写真をクリックすると、青写真の作成として、クラブ強化への青写真ガイド・計画プロセス・ワークシート・行動計画ワークシート・目標記述用紙という項目があります。

更に、クラブ強化への青写真ガイドをクリックすると、「クラブ強化への青写真」という10ページにわたる具体的なクラブ強化のプロセスが書かれ、青写真を行動へと移して行くよう促しております。

国際協会において、すでにこのような素晴らしいプログラムが作成され、広く世に公開されている訳ですので、これを使わない手はないのです。個人の小さな頭で考えるより、協会において充分練られたこの方途を現実実践し、挑戦してみる事が重要であると思います。





会員拡大 —純増10%達成に向けて—

会員拡大について

L. 高橋 謙 (水沢LC)

水沢ライオンズクラブは、現在、45名の正会員と5名の家族会員、計50名で日頃の活動を行っています。最盛期は、60人を超える正会員が居たそうですが、私の入会時には、40人を切るかどうかという会員数でした。

当然、会員拡大に関しては、クラブ内でも色々協議しているのですが、退会される方もここ数年多く、じり貧という感じで推移しています。

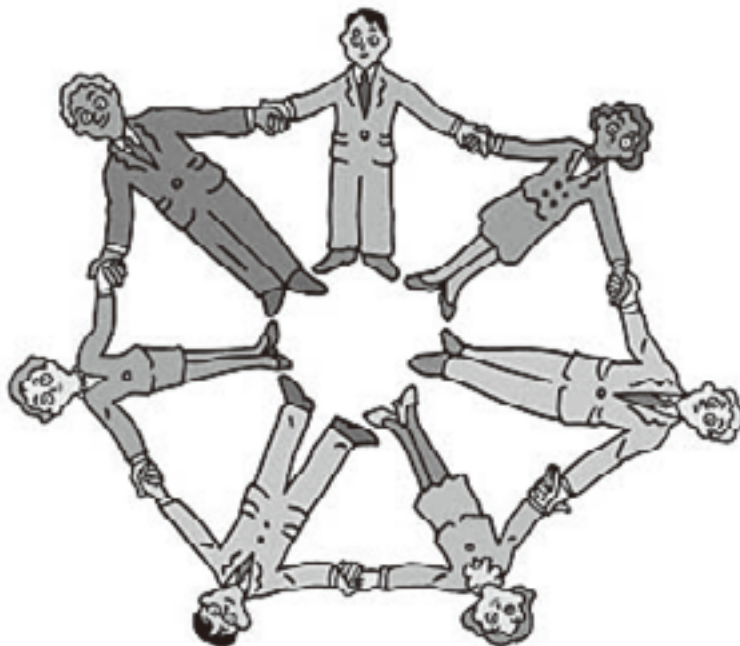
私は、入会4年目ですが、入会当初より、色々な会合等で知り合った若い方・同年代の方を中心に声をかけてきました。話している内容は、他愛もないことが多く、自分の入会したときのこととか、当クラブにはこんな人がいて面白いよとかそんな話をして勧誘しています。また、先入観を持たず、飲んでて気が合った方には、積極的に声を

かけるようにしています。

今年度は、前年までの種まきの成果かどうかわかりませんが、早々に5人の新会員の入会がありました。比較的若い方が多く、長くお付き合いできるような会の行事等にも誘っていくようにしています。

今後の当クラブの課題としては、女性正会員の獲得が上げられると思います。57年の歴史の中で、女性正会員の入会が一人もありません。そこで、ここ2・3年前から女性会員獲得にも力をいれていますが、中々難しいのが現状です。

現在の会員ひとりひとりが会員勧誘のことを考え、実践することが最終的に会員拡大につながるものと考えております。意識をもってがんばりましょう！



被災地応援買い物ツアーと親鸞聖人

花巻東ライオンズクラブ 幹事 L.小原 勇



花巻囃子の音が聞こえ始めますと、当クラブでは毎年恒例の「東京蒲田LC・三沢LC合同例会」の時節となります。花巻祭りに、東京蒲田LC・三沢LCのメンバーをご招待し、合同例会終了後花巻祭りを楽しんで頂く企画です。花巻祭りは、9月第二週の金・土・日（今年は、9月8・9・10日）に行われ、花巻囃子の優雅な音色での、山車の運行・日本一を誇る神輿の数（ギネス登録114基）宮沢賢治も愛してやまなかった鹿踊りのパレード等見所満載の祭りです。

東京蒲田LCとは、姉妹提携を行ってから35年以上、三沢LCとは友好クラブとして20年以上のお付き合いになります。

東日本大震災の時、東京蒲田LCの皆様からは、復興の一助になればと、いち早く多額の義援金を頂きました。チャリティーコンサートの益金と、蒲田駅前街頭募金をして得たお金です。クラブメンバーの家族も総出で、お子様も巻き込ん

で街頭募金を行ったと伺いました。ライオンズのメンバーとして、誇らしくもあり又頭の下がる思いだったことを今でも覚えています。震災の翌年、東京蒲田LCのメンバーと当クラブとで大船渡方面をバス視察いたしました。まだ、震災の傷跡はいたる所に残っておりました。けれど、立ち寄った港で、新造船の進水式？に出会い、大漁旗のはためく中で祝い餅を頂いた事が思い出されます。

あれから6年以上の月日がたち、東京蒲田のメンバーに、その後の状況を見てもらいたい。そんな思いから、買い物ツアーの企画となりました。

又、森谷ガバナーの重点目標の一つ「東日本大震災復興支援」そして当クラブ下川原会長のテーマが「勇気を持って新たなステージへ！」他クラブとの交流を通してです。そこで、沿岸クラブを巻き込んで企画することになりました。キャビネット幹事鈴木Lより、大船渡五葉LC幹事瀧

上清Lをご紹介頂き、連絡を取ることでなりました。測上Lには、お忙しい中視察ルートの作成やら、昼食の手配までお願いし大変ご迷惑を掛けてしまいましたが、私たちは、時間を有効に使う事が出来ました。ご協力頂き本当にありがとうございました。

視察ルートは、「大船渡津波伝承館」・語り部による解説と被災体験談→「車窓より市内視察」・被災地の現状・応急仮設住宅・防潮堤工事などなかでも心に残ったのは大船渡市復興モニュメント「明日へのラブレター」見学(皆が集まる場所にし、ふるさとを守る希望のシンボル)回廊は、子供達が滑り台で遊べるようカラフルな、タイル張りでした。

キャッセン大船渡にて昼食とお買い物、おいしい秋刀魚とおさしみを頂きました。満腹・満腹

三陸おさかなファクトリーにて買い物、おさかなばかりでなくお米まで買っていました。

帰り道、住田町により、森谷ガバナーの案内で、イチヨウ並木で有名な浄福寺によりました。樹齢三百数十年、高さ20m以上のもみの木に落雷があり、切り倒すばかりの樹木に親鸞聖人像を、チェーンソーアート。見事な親鸞聖人像を、一般公開初日に見学できたほかに、地元出身の森谷ガバナーに、お寺の歴史を含め親鸞聖人像に関しても丁寧に説明して頂きました。皆様の御協力を頂き東京蒲田LC(7名)花巻東LC(家族会員含め12名)合計19名(三沢LCメンバーは、翌日の航空ショーの準備のため参加できませんでした。)楽しく、有意義な時間を持つことが出来ました。

ありがとうございました。



10月のアクティビティ

1 R 1 Z		
盛岡LC	5日	暴力団追放街頭キャンペーン
	8日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	9日	ラグビー用品等贈呈
盛岡不来方LC	5日	暴力団追放街頭キャンペーン
	6日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
盛岡中津川LC	4日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	5日	暴力団追放街頭キャンペーン
盛岡観武LC	4日	直接献血
	5日	暴力団追放街頭キャンペーン
	15日、29日	こども食堂
盛岡南LC	5日	暴力団追放街頭キャンペーン
滝沢LC	12日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
玉山姫神LC	3日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
1 R 2 Z		
二戸LC	4日	地域安全「ポスター」「書」コンクール後援
	12日	二戸地区防犯協会へ助成金贈呈
	18日	第10回カシオペア安全安心ちびっこまつり
西根LC	7日、8日	第28回西根ライオンズカップ争奪ミニバスケットボール大会
	14日	第16回西根ライオンズカップ争奪少年野球大会
	17日	岩手焼走りマラソン全国大会実行委員会
	28日、29日	第14回西根ライオンズカップ小学生バレーボール大会
	28日	薬物乱用防止教室
	28日	ライオネス助成金
安代LC	12日	清掃活動
2 R 1 Z		
花巻LC	14日	第6回花巻市社会福祉大会
	19日	平成29年度暴力団追放県民大会
紫波LC	7日	紫波町タグラグビーフェスタ協賛
	8日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃活動
	21日	献血推進活動
	21日	第2回薬物乱用防止PR活動
石鳥谷LC	8日	世界ライオンズ奉仕デー 石鳥谷LEOと合同清掃活動
	16日	献血推進活動
花巻東LC	9日	わたしの主張花巻大会
	9月27日、10月11日	レディース委員会 手作り品制作
東和猿ヶ石LC	9日	ライオンズの森草刈作業
	19日	桜香の森草刈作業
矢巾LC	4日	矢巾町秋祭りの会場清掃
	15日	献血推進活動
	15日	薬物乱用防止呼びかけ運動
	15日	ひかりの箱募金活動
	15日	チャリティバザー(事業資金獲得)
	20日	ライオンズ国際平和ポスターコンテスト

2 R 2 Z		
北上LC	9月1日~30日	資源回収リサイクル活動
	5日	献血推進活動
和賀LC	8日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	~25日	資源回収 3回
	9月30日	第32回ふれあい福祉スポーツ大会
北上国見LC	8日	世界ライオンズ奉仕デー 花壇除草、道路清掃
	20日	献血推進活動
	5日	献血推進活動
	8日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
江釣子LC	18日	障がい者支援施設「秋の江」交流会
	20日	LC少年剣道練成大会
	9月30日	第32回ふれあい福祉スポーツ大会
水沢LC	3日、27日	資源回収
	8日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	8日	献血推進活動
	21日	フードバンク
	21日	江釣子中学校70周年記念備品購入費支援
3 R 1 Z		
水沢LC	14日	歳末助け合い協賛水沢中央LCと合同バザー
	19日	地域安全・暴力団追放胆江地区民大会
	20日	第12回奥州市社会福祉大会
江刺岩手LC	9日	赤い羽根共同募金運動街頭活動
前沢LC	15日	献血推進活動
水沢中央LC	3日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	14日	歳末助け合い協賛水沢LCと合同バザー
金ヶ崎LC	6日	赤い羽根共同募金運動街頭活動
	9日	献血推進活動
胆沢岩手LC	21日	金ヶ崎町立第1小学校学習発表会
	19日	赤い羽根共同募金
3 R 2 Z		
一関LC	7日	大槻玄沢記念事業支援
	26日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	27日	薬物乱用防止講座支援
平泉LC	2日	第15回町教育長杯学童野球大会
	9日	第25回黄金祭 協力
花泉LC	10日	ライオンズの森管理作業
	8日	わんぱく寺子屋
一関中央LC	14日	いわてピンクリボンフェスタ
	8日	一関市福祉まつり
	20日	使用済み切手 1000枚送付
一関蔵美溪LC	27日	第3回フィリピンへ古着を贈る
	31日	巣箱清掃メンテナンス作業
4 R 1 Z		
千厩LC	27日	ひかりの箱Z内合同募金

千厩LC	14日	一関地区防犯少年柔剣道大会
	14日	チャリティバザー
	23日	献血推進活動
大東岩手LC	8日	献血推進活動
	27日	ひかりの箱Z内合同募金
東山LC	7日	から梅館絵巻前夜祭チャリティバザー(事業資金獲得)
藤沢岩手LC	24日	献血推進活動
	27日	ひかりの箱Z内合同募金
川崎岩手LC	—	
室根LC	25日	LCIF\$1000献金、LCIF\$20献金
	28日	ライオンの森整備事業
4R2Z		
大船渡LC	1日、28日	ライオンズ農園収穫 大洋学園へ届ける
	8日	チャリティゴルフ大会益金 赤崎中学校に寄贈
	24日	声の図書館点検と整備
	29日	気仙地区剣道スポーツ少年団剣道大会
陸前高田LC	30日	希望ヶ丘病院 草刈清掃奉仕
住田LC	10日、12日	世田米、有住保育園児栗拾い
	16日	ひかりの箱
	21日	住田LC会長杯グランドゴルフ大会
	27日	献血推進活動
大船渡五葉LC	—	
5R1Z		
宮古岩手LC	—	
久慈LC	9月30日、10月1日	久慈LC杯学童野球新人交流大会
	3日	赤い羽根共同募金協力
陸中宮古LC	1日、4日、10日	レディの会奉仕活動
	2日	赤い羽根共同募金街頭啓発活動
	16日	百獣の王ライオンコンペ

陸中宮古LC	25日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃活動
田野畑LC	8日	ミニバス児童と思惟大橋公園清掃
	23日	使用済み切手 3000枚送付
岩泉龍泉洞LC	4日、11日、18日	済生会病院前ライオンズ花壇の整備
	1日～31日	無料ランドリー管理
5R2Z		
釜石LC	6日	釜石市図書館に図書寄贈
	6日	FC釜石に活動助成金贈呈
	6日	ラグビーワールドカップ カウントダウンボードを釜石市へ寄贈
	9日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃活動
	18日	第436回LL奉仕活動
	27日～29日	釜石商工祭レオクラブコーナー開設
遠野LC	18日	リサイクル品の回収
釜石リアスLC	20日	使用済み切手 1000枚送付
	28日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
大槌LC	14日	城山公園内遊歩道 草刈、清掃、ベンチの修理
陸中山田LC	—	
ライオネスクラブ		
西根LS	28日	薬物乱用防止教室
レオクラブ		
盛岡LEO	—	
石鳥谷LEO	7	世界ライオンズ奉仕デー 石鳥谷LCと合同清掃奉仕活動
北上LEO	13	学園周辺ゴミ拾いと清掃奉仕
一関二高LEO	—	
釜石LEO	9	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	28日、29日	商工祭 レオコーナー開設

会 員 動 向

10月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入/再入/転入)
盛岡LC	本 田 成 幸
盛岡南LC	石 杜 真 澄
北上国見LC	高 橋 一 也
水沢LC	及 川 智 之
前沢LC	鈴 木 明 夫
水沢中央LC	佐々木 佳
一関巖美溪LC	稲 垣 智 雄
	佐 藤 浩
千厩LC	三 浦 久 美 子

10月 LCIF\$1000献金

クラブ名	会員氏名	MJF回数
室根LC	中 島 雪 舟	1

訃 報

紫波LC
故 L. 高橋 純子

享年62歳
10月10日 ご逝去



大東岩手LC
故 L. 及川 元子

享年59歳 (家族会員)
10月25日 ご逝去



アクティビティ フォトグラフ



安代LC



清掃活動

釜石LC



釜石レオクラブと共に清掃活動

玉山姫神LC



清掃活動

水沢中央LC・水沢LC



合同チャリティーバザー

盛岡観武LC



子供食堂(ハロウィン)

中津川LC



盛岡城跡公園清掃活動

盛岡不來方LC



暴力団追放街頭PR

石鳥谷レオクラブ



環境整備活動(石鳥谷駅)

東山LC



落ち葉清掃

北上国見LC



萩の江交流会

北上レオクラブ



清掃奉仕

和賀LC・江釣子LC



ふれあい福祉グラウンドゴルフ大会

編集後記

クラブ紹介の記事は、アクティビティや例会の参考としていただくことができると思います。ゾーンやクラブごとに状況は様々ですが、この記事に掲載することのねらいは、取組の内容を互いに共有することで、良いものは取り入れ、さらに発展させていくことです。ご協力いただき本当にありがとうございます。より多くのライオンが次号を心待ちにするような紙面づくり、そして、地域に暮らす皆様にライオンズクラブをより身近に感じていただきたいという気持ちをこめて、編集長を中心に今後も励んでまいります。
(編集委員 L.大坂佐智夫)

《表紙の写真》 松日橋(住田町下有住)

松日橋(まつひばし)とは、気仙川にかかる長さ約38mの木の橋です。一枚約10mの木の板を繋げて、木製の橋脚に乗せ、渡したものです。この橋は「流れ橋」で、気仙川が降雨によって増水し、橋が絶えられなくなると自然に橋脚が倒れ、流されてしまいます。橋脚や橋板など橋の部材はワイヤーロープで両岸に固定されていて、水が退いたあとと組員らにより再び復旧、架橋されます。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行：2017年11月25日

発行人：L.森谷 潤
編集委員長：L.熊谷千洋
副委員長：L.瀧本正徳 L.金野廣勝
編集委員：L.阿部祐一 L.新沼章一 L.千葉弘志
L.高橋哲郎 L.大坂佐智夫

印刷：タクミ印刷株式会社
〒029-2205 陸前高田市高田町字法量68-1
Tel 0192-55-2178 fax 0192-55-5187
E-mail : takumi2@aurora.ocn.ne.jp
キャビネット事務局：〒020-0022
盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号
Tel 019-621-1415 fax 019-621-1420
E-mail : morioka-cab332b@almond.ocn.ne.jp